

# Nice to meet you!

新任のアンドリュー先生に  
自己紹介をしていただきました

My name is Andrew, and I'm a new English teacher here at Tosa High School and Junior High School. I grew up in Australia, but have loved travelling since a young age. I first lived in Japan when I was an exchange student at Kansai University for one year. I have taught English in

Korea for three years and at Kitagawa-mura for two. I have many interests, including photography, cooking, hiking, cycling and studying foreign languages. I am very happy to be here.

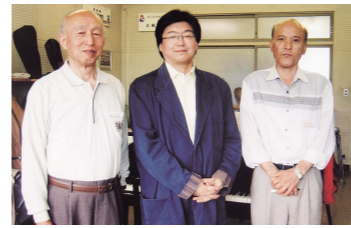


新しい英語の先生のアンドリュー・ウォーレスです。オーストラリア育ちですが、小さい頃から旅行が大変好きでした。初めて日本に住んだのは大学生の時、関西大学の交換留学生として1年間勉強しました。その後韓国で3年間英会話教師として、また北川村で2年間国際交流員として働きました。趣味は写真を撮ること、料理、ハイキング、サイクリング、外国語を学ぶことです。どうぞよろしくお願ひします。  
(この日本語訳はアンドリュー先生ご自身が書かれたものです。)

## 芸大教授がオケ部を指導

5月11日、12日の両日の放課後、本校オーケストラ部に、東京芸術大学准教授であり、国内外でヴァイオリン奏者としても活躍されていらつしやる松原勝也先生が指導にお願いしていただきました。本県出身の松原先生は、県内の高校オーケストラ部の指導を希望があり、本校の振興会保護者とのつながりもあつたことから、今回の企画(？)が実現しました。テレビカメラも入り緊張した中、生徒達は先生の教えを一生懸命聞き、演奏していました。見学した保護者も生徒達の演奏がみるみる上達していく様子に驚いていました。練習後は、素晴らしいプロの演奏も聞かせて頂き、皆大変満足しておりました。

松原先生は「技術的な面では、自己流な部分もありますが、生徒達がこちらの指導内容を的確に理解し、音楽的なものを共有し上達し変わっていく姿に感動しました。また、先生方をはじめ、関係者の皆様にも喜んで頂いたと後で聞き、高知での2日間に充実感を覚えていま



す。」との感想を下さいました。以下は生徒達の感想です。『皆の音を聞いて合わせる事でどれだけ音楽が変わるか、きれいに聴こえるのかがとてもよく分かりました。弓の持ち方、力の入れ方、感情などですぐに音が変わつてしまうのにびっくりしました。』レベルの高さは、技術面と表現面で感じました。技術を磨くだけでなく、普段からどういふ音を出したいのか意識して練習しようと思ひました。『先生にヴァイオリンを演奏して頂き、非常に刺激を受けました。とても繊細で、迫力があり、感動しました。』初めは、堅苦しく感じましたが、最後には、とても生き生きとした演奏が、最後には、とても生き生きして、表情豊かな音楽になる事ができたと感じます。皆さんの事を教わり吸収する事ができ、後々の練習に役立てたいです。

振興会理事 竹内多恵子

## 高校生のための金曜特別講座

今、放課後5時半からL1教室で金曜講座を開講しています。これは東京大学の大学院総合文化研究科教養部が高校生に学問研究の面白さを伝える目的で開いている公開講座です。東大駒場キャンパスで毎回違うテーマで講義が行われ、それを地方高校約40校にインターネットで同時配信しています。講義後の質問時間には地方の高校生からも、カメラマイクを通して東大の会場に質問が可能で、駒場会場の高校生よりもむしろ活発に意見が寄せられています。内容を少し紹介します。

### 「イタリア」

木村凌二

ポンペイ遺跡を通し、ローマ時代の人々の生活を探る。遺跡とそれをもとに再現した住居や公共建築物の復元画像が対比して映し出された。これがとても美しく印象的。

### 「関レベルヌイ数をめぐって」

織田孝幸

数学(数列)のかなり難しい話。

それでも講義後、静岡県富士高校から「ベルヌイ数がゼータ関数にどのように応用されるのか概略を教えてください」との質問が発せられ地方にもすごい高校生がいるのだと驚かされた。

### 「万機公論に決すべし」

日本の民主化の世界的意味

三谷博

日本は明治期、欧米でしか行われていなかった民主的政治を自らの手で作り上げようと努力しある程度達成した。この歴史と現在の政治・特にイラクなどの非西洋世界の民主化問題と関連させた講義。ラサール高校からインターネットの匿名性について、かなり食い下がった質問が面白かった。追手前高校からも14人が参加。

### 「物理の常識は世界の非常識」

久我隆弘

レーザー光を当てることにより物質は冷却できる、しかもどんなに冷却しても気体は液体にも固体にもならない……という話。数学と同じく高度な内容であったが、実験や図表をたくさん示し、光のエネルギー、温度との

関連を説明。

### 「人類は地球温暖化に懸念な対応ができるか」

後藤則行

温暖化解決に潜む問題点を構造的に解説。切実なテーマだけに高校生からの質問が途切れない。前半の講義の部分より、質問部でこの問題の難しさがより鮮明になった。

現在参加生徒が少ない(各回数名程度です)のが難点ですが、今年一年引き続き開いていきます。保護者の方の参加も歓迎です。



「人類は地球温暖化に懸念な対応ができるか」

## 公正正大な新校舎建築プロジェクトに参加して

7月5日の土佐校評議員会、理事会において建築業者が決定され、日程・安全面での施策等も検討され、いよいよ新校舎建築の工事が始まることになりました。

ご存知のように新校舎建築の為の様々な検討会には、振興会の本部役員の方々にも参加していただき、保護者の立場から意見等を聞いていただきました。新校舎建築が正式に理事会にて承認され、本格的に動き始めてから設置されたプロジェクト推進組織には、私も保護者の代表として振興会会長の立場で参加をさせて頂きました。プロジェクト推進組織は、他に2名の理事の方、池上校長先生、三浦教頭先生で構成されており、設計業者・建築業者の決定に関して、最終的な理事会への答申案を作成する事が主な役割でした。その一年あまりの期間、保護者を代表し、是々非々の姿勢で、意見交換をさせて頂きました。そして、皆で検討を重ねた結果が、評議員会・理事会で承認され、実現

されてゆきましたが、その間、常に、学納金の値上げ等、保護者にとつて大きな負担を伴うこのプロジェクトの重要な意思決定の場に、保護者の代表として立ち合わせ頂いた事の重要性を感じながら、会に臨みました。そして、そのコンセプトに『公正正大な建築事業』を掲げたこの事業は、三菱地所設計の十二分な技術上のアドバイザー・説明のもと、各技術担当者の資質までを判断基準にした総合評価方式を用いるなど、本当に説明責任の果たせる内容になっていると思ひます。

しかしながら、今になると反省すべき点もいくつかあります。例えば、平成18年の7月下旬の振興会臨時評議員会で、支部の方から、「新校舎建築の正式な決定、学納金の値上げ等を新聞報道から知るようになった。何故、我々保護者が先に知られる事がなかったのか。その点が非常に残念だ。」というご意見を頂きました。理事会の承認を受け発表されるべきことでもあり、又、その後日程的なこともあって、事情を知るものとしてはやむを得ない部分もあつたと思ひます。保護者の立場からすれば本場に「ごもっともなご意見でした。」

又、設計・施工業者選定の際には、色々な噂・流言が飛び交いました。公正な選定のために情報管理が必要とされた事情はありましたが、振興会のみならず、同窓会・教職員の皆様を含め、多くの関係者の方にはかるべき情報をしかるべき方法で提供し、積極的なご協力を頂く体制作りという点においては、今ひとつ工夫すべきところがあつたように思ひます。

7月5日の土佐校評議員会においては、学校より施工業者の公募とその結果を踏まえた候補施工業者との交渉過程等、詳細なご報告をいただきました。今回のこの新校舎の建築事業は、その基本コンセプトにあるとおり『公正正大な事業』であり、土佐校の未来を託し、子供たちの学校環境に大きく寄与する事業であるという事を、自信を持って土佐校振興会会員の皆様にご報告させて頂きます。

振興会会長 徳永俊一